

従

来型のマーケティングとは異なる思想、「インバウンドマーケティング」という概念を提唱し、全世界で急速に成長している米・ハブスポット。2016年7月、グローバルビジネスハブ東京に、日本市場開拓のためオフィスを開設した。英語圏以外では初のオフィスだ。

「インバウンドマーケティングとは一言でいうと、オンラインコンテンツを軸に、見込み顧客を引き付け、顧客化支援までの一連の流れをサポートする手法のこと。従来型の、『宣伝をして集客する』というオフラインのマーケティングでは、多額の費用を投じて効果も可視化できず、データを得ることもできません。一方、インバウンドマーケティングでは、企業のサイトを訪れた見込み顧客のデータを分析、課題を把握して、それを解決するためのコンテンツを企画、提供することができます。長期間にわたる、極めて有効なマーケティング手法なのです」

そう語るの、ハブスポット日本法人ゼネラル・マネージャーの赤平百合氏だ。同社がターゲットとするのは、巨大なブランド力や宣伝のリソースを持たないスタートアップ・ミドルサイズの企業。オンラインの発達で、適切なコンテンツを提供すれば、宣伝に巨額な予算を投下できる大企業にも勝る時代なのだ。企業側からの一方的なアプローチではなく、ブログやFacebook、Twitter、SEOなど、ネットを使う様々なコンテンツを通じて、自社に興味を持ってもらうことから始める。営業とマーケティングを効果的に組み合

わせ、セールスを活性化させるのが狙いで、同社はそのためのもっともオールインワンのソフトウェアを提供する。

現在、ハブスポットの導入企業は、全世界で約2万社にも上るが、日本市場への本格参入はまだこれからだ。

「日本に目を向けたのは、経済が安定し、有力な中小企業が多いため。オフィス開設は、日本の顧客やパートナー企業に向けて効果的なサポートを実現したいと思ったからです。目指しているのは、国内のマーケティングの概念をインバウンドに変えてゆくこと。その啓蒙に成功すれば、私たちのソフトウェアは自然に売れると思います」（赤平氏）

グローバルビジネスハブ東京をオフィスとして選んだ理由は、丸の内エリアがビジネスのハブで、外資系のスタートアップ企業が多くネットワークを築きやすいこと。また同社のカルチャーに合ったオフィス環境があったからだという。

「オープンスペースがたくさんあり、フレンドリーで伸び伸びと仕事ができる雰囲気が入りました。大手町は金融街の堅いイメージがありましたが、ここなら、Tシャツにジーンズでも違和感なく働けます。立地条件も良く、お客様やパートナー企業向けのイベントを計画しているため、イベントスペースがあるのもうれしい。HEART (Humble・謙虚・Effective・積極的・Adaptable・柔軟・Remarkable・誇れる長所・Transparent・誠実) を大切にする当社のカルチャーを尊重してくれるオフィスで、人材採用にも効果があると考えています」（赤平氏）

インバウンドマーケティングを通して、
ビジネスを成功に導く。

Global
Business
Hub
Tokyo

INTERVIEW

TRANSFORM

居心地が良い場所に居続けると 自分は成長できない

変化といえば、ハブスポットの日本オフィスの開設がTRANSFORMそのものです。国内のマーケティングの概念をゼロベースからインバウンドに変えていくわけですから。とてもエキサイティングなチャレンジです。個人的には“Getting out of comfort zoneー居心地が良い場所に居続けると自分は成長できない”という言葉が好きです。私は帰国子女でもなく大学から自分の意志で留学し、あえて厳しい環境で自分を成長させてきました。変化を求め続けてきたからこそ、今回のチャンスが巡ってきたのだと思います。



ハブスポット

「人々の生活、仕事、買い物、購入の決定方法が変わってきているにもかかわらず、企業のマーケティング活動はそれにまったく適応していないのではないか？」そんな単純な疑問を抱いたブライアン・ハリガン氏とダーメッシュ・シャア氏は、2006年にHubSpot（ハブスポット）を設立。インバウンドマーケティングのビジョンを打ち立て、現在は、90カ国以上で1万9000社を超える企業が同社のソフトウェア・サービス・サポートを活用している。日本では、2012年から販売代理店を通じて提供されていたが、2016年7月に日本法人を立ち上げたことにより、国内での展開を強化していく。

HubSpot

日本法人 ゼネラル・マネージャー
赤平 百合氏

オレゴン大学を卒業後、Meltwaterの日本法人の設立に参加。その後、Meltwater Japanの代表取締役として日本オフィスを統括する。2016年7月、HubSpot Japanのゼネラル・マネージャーに就任。日本の職場環境における女性のダイバーシティを支援し、自身も積極的に活動している。